



# 令和8年度 第78回 関東高等学校ヨット大会

令和8年6月12日（金）～14日（日）

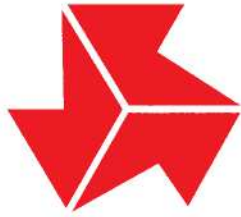
山中湖村ヨットハーバー

共同主催 山梨県セーリング連盟 関東高等学校体育連盟 山梨県高等学校体育連盟

大会運営 関東高等学校体育連盟ヨット専門部

山梨県高等学校体育連盟ヨット専門部

後援 山梨県教育委員会 山中湖村 山中湖村教育委員会



## 高等学校体育連盟マーク

高体連のマークはドイツ語の三つのKを組み合わせたもので色彩は若人の情熱を示している。

三つのKは、力(KRAFT)

技(KUNST)

明朗な精神(KLARHEIT)

を意味するものである。

## 高体連の歌

全国高等学校体育連盟制定  
増田文雄 作詞  
小松清 作曲

深刺と ♩=104

*mf*

あけゆく おおぞら あかねのあさのひ ああ

*poco legato*

おぐこころは さやかにはれて ともにかた

*mf non legato*

くみきたえゆく いのちはつら っい

*f* *ff*

きあがる ともよいざ っどいな

*mf* *f*

ん こといれん こといれん われらわかし

## 高体連の歌

一、あけゆく 大空  
あかねの 朝の陽  
仰ぐ心は さやかに晴れて  
ともに肩組み 鍛えゆく  
生命はつらつ 意気あがる  
友よいざつどいなん  
高体連 高体連 われら若し

二、さみどり 萌えたつ  
希望の この土  
しかと踏みしめ 大気に伸ばす  
この手この脚 躍進の  
ちから溢れて 血はおどる  
友よいざつどいなん  
高体連 高体連 われら若し

三、世紀のひかりは  
野山に 波路に  
うた声たかく こだまとひびき  
たゆまぬ努力 技を練る  
行手ほまれの花かおる  
友よいざつどいなん  
高体連 高体連 われら若し



## 祝 辞

山梨県高等学校体育連盟  
会 長 山田 芳樹

世界文化遺産・富士山をはじめ、南アルプスや八ヶ岳など雄大な山々に囲まれ、清らかな水と澄んだ空気に恵まれたここ山梨の地において、関東各都県から選手及び役員の皆様をお迎えし、令和8年度関東高等学校ヨット競技大会を開催できますことは、誠に喜ばしく、心より歓迎申し上げます。

各都県の厳しい予選を勝ち抜き、この大舞台に立たれた選手の皆さんに、心からお祝いを申し上げます。ここに至るまでには、思うように結果が出なかった日や、苦しい練習に向き合ってきた日々があったことと思います。その一つ一つの積み重ねが、今この瞬間につながっています。自分自身の努力と、仲間を信じ、胸を張って競技に臨んでください。

また、日々熱心に指導にあたられた先生方、そして陰日向なく選手を支えてこられた保護者の皆様に、深く敬意と感謝を表します。

本大会は長い歴史と伝統のもと、高校生の心身の成長と競技の普及・発展に大きく寄与してきました。これまで大会を支えてこられました関東高体連ヨット専門部関係者をはじめ、多くの関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。

選手の皆さん。スポーツは勝敗だけでなく、挑戦する姿勢そのものが人の心を動かします。雄大な自然に抱かれた山梨の地で、最後まで諦めず全力で挑む皆さんの姿は、「見る人」「支える人」に勇気と感動を与えることでしょう。山梨県では、令和9年度の全国高等学校総合体育大会・南関東ブロック大会に向けた準備も進めています。本大会での経験が、皆さん一人一人の未来につながる大切な一歩となることを期待しています。

結びに、本大会が安全かつ実り多い大会となることを祈念し、皆さんの健闘を心から願って、祝辞といたします。



## 祝 辞

山梨県教育委員会教育長 荻野 智夫

関東各都県から多数の選手・監督をはじめ、大会関係者の皆様を山梨県にお迎えし、令和8年度第78回関東高等学校ヨット大会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本大会は、高等学校教育の一環として、生徒が日頃の鍛錬の成果を発揮するとともに、競技を通して規律や協調性、他者を尊重する心を育む、極めて意義深い大会であります。

選手の皆さんには、厳しい予選を勝ち抜いた各都県の代表としての誇りと、仲間や家族、地域の方々への感謝の思いを胸に、最後まで全力で競技に臨まれることを期待しています。そのひたむきな姿は、多くの人々の心に希望、勇気、感動をもたらすでしょう。

また本大会が、選手同士の交流を深め、都県を越えた友情を育む貴重な機会となることを願っております。

山梨県は、世界文化遺産・富士山を仰ぐ地として、雄大な自然と豊かな歴史文化に恵まれています。霊峰富士のもとで繰り広げられる本大会が、皆様の心に深く刻まれることを期待しています。

結びに、本大会の開催に御尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げ、選手の皆さんの御健闘と大会の成功を祈念し、祝辞といたします。

## 令和8年度 関東高等学校ヨット大会 大会役員

名誉会長	長崎 幸太郎	荻野 智夫					
大会会長	山田 芳樹						
大会副会長	萱沼 恵光	塩沢 和明	花輪 孝徳	平子 順一	佐藤 美文		
	高野 泰仁	堀内 光一郎					
顧問	宮本 秀憲	向山 憲稔	渡辺 大喜	山田 一功	水岸 富美男	大久保 俊雄	
	桐原 正仁	清水 喜美男	名取 泰	福井 太一	橋本 幸子	梶浦 陽	
	小澤 幸子	中村 己喜雄	加藤 暁子	佐々木 邦彦	小池 孝二	高見澤 圭一	
	岩出 修司	高村 正一郎	杉浦 和朗	高村 高夫	上野 敦男	跡部 義幸	
	宇野 耕二	小笠原正人	田草川光男	横森 巧	鶴田 正樹	古屋 孝徳	
	杉田季久雄	坂本 仁	小林 幸次	市村 一司	松本 純也	仙洞田 一郎	
	飯島 節生	武井多加志	飯田 春彦	小俣 宏記	逆瀬川 慶浩	小俣 義一	
	高野 剛	堀越 晋	杉田 和明	小松 誉	岩永 永	橋本 晃輝	
	池戸 成記	保坂 光雄	清水 昭伯	安藤 真理子	船田 元	大野 敬三	
	石原 伸晃	末木 創造					
参与	山本 晃司	大澤 徹	橘田 誠	清水 清	根岸 洋一	内田 大介	
	松野 正士	松坂 浩一	今村 勇二	平賀 国康	岡部 伸二	古田 厚司	
	高村 則雄	柘植 満子	田辺 信孝	三枝 正哉	井出 仁	権太 正弘	
	高野 泰仁	猿井 義彰	藤原 暢央	小坂 茂生	麻野 貴宏	横山 喜之	
	小澤 信敬	小林 弓子	高橋 勤司	小林 繭美	根津 久一郎	山本 俊貴	
	藤田 時彦	岡村 守	三好 啓太	小和田 亜土	参加各学校長		
大会委員長	窪田 弘樹						
大会副委員長	山本 佳里	今村 優貴	七尾 知紘	米沢 敬三	千葉 瞭太郎		
委員	平嶋 純	上野 裕城	萩原 昇	武藤 拓馬	新海 創士	日原 香織	
	西村 祐司	都澤 効	相沢 毅彦	吉田 真浩	谷尾 美樹	古屋 勇人	
	岡 英幸	古屋 富士雄	小池 治	三浦 国彦	渡辺 真	牧井 修一	
	江頭 信行	渡辺 房子	保田 晴代				

# 競 技 役 員

敬称略

レースオフィサー	渡辺 真					
レース委員	北島 伸哉 七尾 知紘	吉田 真浩 千葉 瞭太郎	相沢 毅彦	都澤 効	西村 祐司	
プロテスト委員長	中村 孝宏					
委員	川北 達也 小宮山 隆	佐竹 泰一	松島 広輔	山口 泰正	谷尾 美樹	
テクニカル委員長	高野 進					
委員	古屋 勇人	三浦 国彦	松永 義昭			
総務部長	千葉 瞭太郎					
部員	米沢 敬三	勝俣 信也	七尾 知紘			
陸上本部長	田辺 文得					
通報・記録部長	岡 英幸					
部員	佐藤 里菜					
発着水路部長	A: 渡辺 真	B: 三浦 国彦				
部員	並木 淳 渡辺 房子 天野 大志 高村 和信	小松崎 良晃 渡辺 隆蔵 佐藤 直美 羽田 玲	高野 進 牧井 修一 保田 晴代 高村 虎太郎	内田 伸一 高村 泰成 堀内 宣栄 坂本 宇央	天貝 謙介 天野 正志 前田 幸成 長田 貴哉	
救助部長	小池 治					
救護	佐野 陽子					
補助員	富士北稜高等学校ヨット部		吉田高等学校ヨット部			
大会協力	碓会					

# 式典次第

## 開会式

と き 令和8年6月12日(金)  
16:00～

ところ 山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪

選手整列  
開式通告  
開会宣言  
優勝旗・優勝杯返還(レプリカ授与)  
挨拶  
歓迎挨拶  
来賓紹介  
選手宣誓  
閉式通告

引き続き 監督主将会議

## 閉会式

と き 令和8年6月14日(日)  
15:30～

ところ 山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪

選手整列  
開式通告  
成績発表  
表彰  
プロテスト委員長講評  
閉会宣言  
閉式通告  
選手解散

令和8年度第78回関東高等学校ヨット大会  
第67回全国高等学校ヨット選手権大会予選

実施要項

レース公示 (NOR)

1. 主催 関東高等学校体育連盟 山梨県教育委員会 山梨県セーリング連盟
2. 運営 関東高等学校体育連盟ヨット専門部 山梨県高等学校体育連盟
3. 後援 公益財団法人山梨県スポーツ協会 山中湖村 山中湖村教育委員会
4. 期日 (1) 大会装備検査 令和8年6月12日(金) 9:00~15:00  
(2) 開会式 令和8年6月12日(金) 16:00~  
(3) 競技 令和8年6月13日(土)~6月14日(日)  
(4) 閉会式 令和8年6月14日(日) 15:30~
5. 会場 山中湖村ヨットハーバー(競技会場)  
山梨県南都留郡山中湖村山中 237-1 TEL 0555-62-1881  
(富士急行線「富士山駅」より富士急バス道志小学校方面行きに乗車「山中湖村役場前」で下車)  
山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪(式典会場) (ヨットハーバーから徒歩5分)  
山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296 TEL 0555-62-0020
6. 競技種目 団体競技 男子コンバインド 女子コンバインド  
団体競技 男子420級 女子420級  
個人競技 男子ILCA6級 女子ILCA6級
7. 引率・監督 (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。  
引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。  
(2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。なお、個人において引率責任者が複数校を引率する場合は、同一都道府県内に限るものとする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。  
(3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。  
(4) 同一校から2チーム以上出場する場合、複数チームの監督を兼ねることができる。
8. 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在籍する生徒であること。但し、休学中・留学中の生徒は除く。  
(2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、本大会

要項により参加資格を得た者に限る。ただし、各都県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。

- (3) 令和8年度日本セーリング連盟会員登録を完了している者。
- (4) 2007年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム

(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められる場合)

詳細は、本連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

※ ヨット競技は部員不足に伴う複数校合同チームの対象外とする。

イ 統廃合対象校による合同チーム

(統廃合完了前の2年間に限る)

統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

- (7) 転入後6カ月未満の者の参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)  
ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は各都県高等学校体育連盟会長の許可があればその限りではない。
- (8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) 関東高等学校体育大会参加資格の特例

ア. 上記(1)および(2)に定める生徒以外で当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ. 上記(4)のただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア. 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。  
また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ. 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
    - エ. 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア. 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9. 参加制限 (外国人留学生の扱いは以下のとおりとする)

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
- (2) 在籍校が各都県高等学校体育連盟に加盟していること。
- (3) 2007年4月2日以降に生まれたものとする。
- (4) 短期留学生は除く

10. 競技規則

[NP]の表記は、その規則の違反は艇による抗議の根拠とならないことを意味する。

これは RRS60.1 を変更している。

[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。

- (1) 大会は、2025-2028 セーリング競技規則(以下「規則」という。)に定義された「規則」を適用する。RRS の定義：規則 (g) に基づく大会を管理するその他の文書には、サポートチーム規程 (STR) 及び大会装備規定が含まれる。各クラス規則のセール番号及び艇体番号の同一性に関する条項並びに個人会員登録 (艇及びセール登録は除く) に関する条項は適用しない。
- (2) ペナルティー方式として、競技規則付則 (以下「付則」という) 付則 P、付則 T を適用する。
- (3) 帆走指示書は、大会陸上本部にて、受付時に入手することができる。  
また、5月29日(金)までに、山梨県セーリング連盟ホームページにて公開する。  
なお、帆走指示書の内容に関する質問は、6月11日(木)15:00まで文書で受け付ける。  
なお回答は6月12日(金)までに公式通告する。
- (4) 付則 D は適用しない。
- (5) [NP] [DP] 広告については、競技規則、WS 広告規程、国際 420 クラス規則および国際レーザークラス規則によるが、(公財) 全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規程」がすべてに優先する。
- (6) [NP] [DP] 艇は自らの安全のためにマストトップに、揚力を増すことがない浮力体を取り付けることができる。またコンディションにより取り付けたり外したりすることができる。国際 420 級については、この項を規則 87 及びクラス規則 A8.2 に基づき、クラス規則 C5.1a に追加するものとする。
- (7) 本大会のプロテスト委員会の判決に対する上告の権利は、規則 70.3(a)、日本セーリング連盟規定 5 に基づき否認される。

(2026年2月28日付け JSAF ルール委員会承認)

11. 選手とのコミュニケーション

- (1) 競技者への通告は、公式掲示板 (大会 Racing Rules Of Sailing.org 以下「大会 RRS.org」という。) に掲示される。公式掲示板はオンラインのみとし、大会 web サイトで利用できる。なお、大会会場には Free Wifi のサービスはない。
- (2) 委員会は、補助的連絡ツールとして LINE (以下「LINE」という) のオープンチャットで連絡を行う。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは規則 60.1(b) を変更している。
- (2) [NP][DP] 競技者は、令和 8 年 6 月 1 日 (月) 15:00 までに「LINE」のオープンチャットへの登録すること。(各艇 1 人以上の登録が必要ですが不可能な場合ご相談ください) 登録方法は、別途指示する。大会オープンチャットでの選手・監督・支援者からの投稿は認めない。

12. 競技方法 (1) 各高等学校より 420 級には男女それぞれ 2 艇、ILCA6 級には男女それぞれ 2 艇までエントリー

リーできる。420 級については1艇4名以内の選手登録とし、1チームを構成する。チーム内でのレースごとのスキッパー、クルーの分担は任意である。ILCA6 級については、1艇1名の選手登録とする。ただし、同一の選手が複数の種目・艇にまたがって登録することはできない。また、参加申し込み締め切り以降の選手登録の変更は原則として認めない。

- (2) 本大会は7レースを予定する。天候その他の事情によりすべてのレースを消化できなかった場合、1レースの完了をもって大会は成立する。
- (3) 1日に行うレース数は最大5レースとする。
- (4) 各レースは、各クラスともに男子、女子すべて同時スタートとする。
- (5) 帆走するコースはWindward/Leeward（風上／風下）コースを予定し、詳細は帆走指示書で規定する。
- (6) 得点方法は競技規則付則A4による。ただし、艇のシリーズ得点は、完了したレースが4回以下の場合、すべてのレースにおけるその艇の合計得点とし、完了したレースが5回以上の場合、その艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- (7) 各艇のレース得点は男女別につける。
- (8) 使用する艇は、各学校の所有艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇でなければならない。
- (9) 同一のセール番号を複数の艇が使用することは認めない。またエントリー完了以降のセール番号の変更は認めない
- (10) コンバインド競技は学校対抗とし、男女それぞれ420級、ILCA6級の最終順位に対する得点を与え、各校の上位2艇までの合計得点で決定する。「最終順位に対する得点」とは下表のとおりとする。なお、得点はすべての参加艇に与える。同点の場合は、420級、ILCA6級のいずれかで最も良い順位を獲得した学校を上位とする。それでも順位が決まらない場合は、同位とする。

表

	420 級	ILCA6 級（小数点第2位四捨五入）
1位	参加艇数の値	参加艇数の値に0.7を乗じた値
以下	1位下がるごとに1点を減じた値	1位下がるごとに1点を減じたのち0.7を乗じた値

13. 計測 (1) 山梨県セーリング連盟ホームページ「関東大会特設ページ」  
[（jsaf.or.jp/fujiyama/2026\\_kantoutaikai.html）](http://jsaf.or.jp/fujiyama/2026_kantoutaikai.html) に公表される「大会装備規程」に従って大会計測の準備をすること。
- (2) セール・艇・装備品等の計測を6月12日（金）09:00～15:00の間に、ヨットハーバー艇置場で行う。計測の手順等は受付時まで指示する。なお、計測時には艇及びセールを可能な限り乾燥させておかなければならない。
  - (3) 計測はエントリー数のみ行い、予備艇や予備セールの事前計測は行わない。
  - (4) 競技規則78および装備規則A.2に留意し、計測証明書を持参すること。ただし、艇体番号とセール番号が異なる場合は、双方の計測証明書を持参すること。
  - (5) 計測料は1艇（セール1組含む）につき、1,000円とする。
  - (6) [NP] [DP]女子チームについては、420級クラス規則（C10.2(C））、レーザークラス規則4(g) iCに従って、「赤色の菱形マーク」を付けなければならない。  
 なお、参加申し込み時に希望すれば、「赤色の菱形マーク」を購入することができる。  
 1セット 1,500円（税込み）で、受付時に代金と引き換えで受け取ることができる。
  - (7) [NP] [DP] 曳航ロープについて
    - (a) 420 級については、420 クラス規則のとおりとする。

(b) ILCA6 級については、直径 6 mm 以上、長さ 5 m 以上の曳航ロープをバウアイに結びつけておかなければならない。

14. 参加料 420 級については 1 艇につき 20,000 円、ILCA6 級は 1 艇につき 3,000 円とする。参加申し込みとあわせて、5 月 29 日（金）までに下記振込先に振り込むこと。なお一旦納入された参加料は、大会の中止、あるいは参加者が出場を取り消した場合でも返金しない。振込手数料は参加校が負担すること。

参加料振込先

山梨中央銀行 竜ヶ丘支店（店番号 514）

普通 82933

山梨県高体連ヨット大会事務局 代表 千葉 瞭太郎

15. 表彰 (1) 男女 420 級の 1 位に賞状および優勝杯（持ち回り）を授与し、2 位から 6 位に賞状を授与する。  
(2) 男女 ILCA6 級の 1 位に賞状および優勝杯（持ち回り）を授与し、2 位から 6 位に賞状を授与する。  
(3) 男女 420 級、ILCA6 級は下記のとおり令和 8 年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会への出場権を与える。なお、出場権を獲得したのちに、全国高校総体への出場を辞退する場合には、速やかに大会事務局に連絡しなければならない。また、全国高校総体参加申し込み期限までの間に、辞退が生じた場合は、上位から順次出場権の繰り上げを行う。  
・男子 420 級；1 位から 9 位まで                      ・女子 420 級；1 位から 4 位まで  
・男子 ILCA6 級；1 位から 6 位まで                      ・女子 ILCA6 級；1 位及び 2 位  
(4) 男女コンバインド競技の 1 位の学校に賞状および優勝旗（持ち回り）を授与し、2 位および 3 位の学校には賞状を授与する。  
(5) 各種目の前年度優勝校にレプリカを授与する。

16. 宿泊 宿舎は開催地で斡旋する。  
[NP]別添「宿泊・弁当申込要項」により、斡旋旅行会社あてに申し込むこと。

17. 競技日程 6 月 1 2 日（金） 受付 08:30 ～ 13:00  
大会陸上本部（山中湖村ヨットハーバー艇庫前）  
計測順受付 08:30 ～（山中湖村ヨットハーバー艇庫前）  
計測 09:00 ～ 15:00（ヨットハーバー艇置場テント）  
海上自由練習 大会装備検査終了後～15:00  
大会装備検査（計測）を終えていない艇は出艇してはならない。  
大会本部は、海上自由練習に対して監視・救助体制は組まない。なお、海上練習を行う艇は、陸上本部にて出艇・帰着申告を行わなければならない。  
開会式 16:00～（山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪 体育館）  
監督主将会議 開会式に引き続き～（開会式会場）  
6 月 1 3 日（土） ブリーフィング（ヨットハーバー艇庫前） 08:20 ～  
最初のクラス 第 1 レーススタート予告信号予定時刻 09:30  
引き続きレース（最大 5 レース）  
6 月 1 4 日（日） ブリーフィング（ヨットハーバー艇庫前） 8:20 ～

最初のクラス スタート予告信号予定時刻 9:30

引き続きレース

13:00 以降は予告信号を発しない。

閉会式 15:30 ～ (山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪 体育館)

18. 参加申込 (1) 申込責任者は各都県ヨット専門部長とし、専門委員長がとりまとめて申し込むこと。
- (2) 参加申込
- ①参加校は下記の(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)※必要な学校のみ、(オ)の手順で必要ファイルを作成し、関東高体連のホームページから「都県専門部」もしくは「開催都県」宛の提出フォームに提出する。
- (ア) 関東高体連ホームページより、参加申込書等の提出書類をダウンロードする。
- (イ) 参加申込書を作成し、学校長印を押印後 PDF ファイルを作成。「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
- (ウ) 参加料を上記 13. 参加料の振込先に振り込み、通知書を PDF ファイルにし、「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
- (エ) 「部活動指導員」が引率する場合は、都県高体連に届け出た申請書を PDF ファイルにし、「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
- (オ) 参加申込書の Excel ファイルを「都県専門部」宛の提出フォームに提出する。
- ②各都県ヨット専門部委員長は関東高体連ホームページ（都県ヨット専門部の提出箱）に提出された参加申込書をダウンロードし確認する。確認後、全ての参加校の参加申込書（PDF）を「都県事務局」宛の提出フォームに提出する。それ以外のファイルは、「開催都県」宛の提出フォームに提出する。
- 各都県専門部委員長のファイル提出期限は、令和 8 年 5 月 29 日(金)とする。
- ※不明な点に関しては、各都県ヨット専門部または大会事務局へ問い合わせること。

〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原 1-2 3-1 山梨県立富士北稜高等学校内 山梨県高等学校体育連盟ヨット専門部 千葉 瞭太郎 宛 電 話 0555-22-4161 F A X 0555-30-0173 E-mail : chibaryo0511+sailing@gmail.com
---

- (3) 学校長は学校健康診断において異常がなく、またその後の活動にも異常がないと認めた上で参加申し込みをすること
- (4) 外部指導者を監督とする場合は、障害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）の保険証券のコピーを参加申込書に添付すること。

#### 19. 個人情報・肖像権の取り扱い

- 19.1. 競技者、指導者および本大会関係者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または装備に関する動画、スチール写真及び撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、0A が独自の判断で使用する権利を与えるものとする。
- 19.2. (肖像の利用)
- 19.2.1. 競技者、指導者および本大会関係者は、0A および 0A が認める企業・団体・報道機関等が次の各号の行為を行うことにつき、異議を述べない。
- 19.2.2. 0A が、公益財団法人日本セーリング連盟、各艇種別協会、高等学校体育連盟に肖像を無償で提供すること。また、提供先が NoR19.2.4. の行為を行うこと。
- 19.2.3. 本大会の開催期間中に、本大会の会場およびその周辺において、競技者、指導者および本大会関係者の肖像を撮影し、または記録すること。
- 19.2.4. 前号により撮影または記録した肖像を新聞、雑誌、ホームページに掲載し、テレビ、インタ

ーネットで放映するなど営利非営利を問わず利用すること。

19.3. (対価請求否認)

競技者、指導者および本大会関係者は、前項による肖像の利用について、名目の如何を問わず一切の対価を請求しない。

19.4. (本規程の承諾)

競技者および指導者は、本大会の参加申込書の提出により、肖像権に関する規定を承諾したものとす。本大会関係者は、本大会に関与することが決定したとき、本規程を承諾したものとす。OA および委員会関係者は、上記に規定する以外の者に対し、本大会会場に会場した場合には本規定を承諾したものとみなされる旨、掲示、放送その他の方法により告知する。

詳しくは「関東高等学校体育大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」をご参照ください。

20. 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、障害などに対する応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくことを強く推奨する。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 艇の搬入は原則として6月11日(木)9:00以降とし、搬出は6月15日(月)15:00までとする。
- (3) 支援者艇の運航については別途「大会支援者規程(STR)」に従うこと。なお、支援者艇を持ち込む場合には、別途登録の手続きが必要なので、事前に山中湖村観光課に連絡を取る。申請書等の書式は以下のHPよりダウンロードできる。  
<https://www.vill.yamanakako.lg.jp/info/661>
- (4) 事前練習について、主催者は一切の責任を負わない。
- (5) 選手の体格・体重に適合するライフジャケット(個人用浮揚用具)を各自持参すること。個人用浮揚用具は、少なくともISO 12402-5(Level 50)または同等な浮揚基準を満たさなければならない。ただし、膨張式救命胴衣の使用は禁止する。
- (6) 昼食休憩時間は、陸上にて確保する。
- (7) 6月の山中湖は気温・水温とも冷え込みことも予想されるのでウエットスーツ・ドライスーツ等の防寒着を用意、十分な対策をすること。
- (8) 大会会場には選手控テント、上水道、洗艇用水道等の準備はない。

21. 大会に関する文書

大会に関する文書・様式は、山梨県セーリング連盟ホームページ「関東大会特設ページ」([jsaf.or.jp/fujiyama/2026/kantoutaikai.html](http://jsaf.or.jp/fujiyama/2026/kantoutaikai.html))及びRRS.orgに公表され、入手することができる。「関東大会特設ページ」の開設期間は次のとおりである。

2026年5月11日(月)～2026年6月30日(火)

以 上

Version 2026-05-26 13:00:00 Updates

Change Log Amendment 01: 10.1 Change the color of the mark buoy

18.9 Delete this item.

**令和 8 年度 第 78 回 関東高等学校ヨット大会  
兼 第 67 回全国高等学校ヨット選手権大会予選**



**帆 走 指 示 書**

**(SAILING INSTRUCTIONS)**

Organizing Authority (OA): 関東高等学校体育連盟 山梨県セーリング連盟

この帆走指示書は、関東高等学校ヨット大会に参加する艇、選手、支援者に適用される。

[NP]は、この規則の違反を申し立てる艇による抗議は無効であることを意味する。これは RRS 60.1 を変更している。  
[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定されることがある。これは RRS A5 を変更している。

## 1. 規則

- 1.1. 本大会はセーリング競技規則（以下『RRS』という）に定義された規則を適用する。なお、令和8年度関東高等学校ヨット大会実施要項をレース公示（以下「NoR」という。）とする。
- 1.2. 各クラス規則を適用するが、セール番号と艇体番号は同一でなくてもよい。
- 1.3. 国際 420 級クラス規則を適用するが、B3 クラス協会登録は適用しない。

## 2. 帆走指示書の変更

- 2.1. 帆走指示書（以下「SI」という。）の変更(レース・エリアの変更を含む)は、それが発効する当日の当該種目の最初の予告信号の 60 分以前までに、公式掲示板に掲示される。
- 2.2. レース日程の変更は、それが発効する前日の 19:00 までに公式掲示板に掲示される。

## 3. コミュニケーション

- 3.1. 競技者への通告は、公式掲示板（大会 Racing Rules Of Sailing.org 以下「大会 RRS.org」という。）に掲示される。公式掲示板はオンラインのみとし、大会 web サイトで利用できる。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

大会公式掲示板 URL: [Racing Rules of Sailing](https://www.racingrulesofsailing.org/)

web サイト URL: [jsaf.or.jp/fujiyama/2026 kantoutaikai.html](https://jsaf.or.jp/fujiyama/2026/kantoutaikai.html)

- 3.2. [DP]緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。
- 3.3. 水上では委員会は OA が用意した無線機で支援者艇に連絡を行う。詳細はサポートチーム規程（STR）に示す。
- 3.4. [DP][NP]競技者・監督・支援者は、大会 LINE オープンチャットで情報を得ることが出来る。ただし、大会 LINE オープンチャットでの選手・監督・支援者からの投稿やスタンプを付すことは認めない。詳細は SI Addendum A を参照のこと。

## 4. [DP] 行動規範

- 4.1. 競技者は、OA、委員会からの合理的妥当な要求に応じなければならない。

## 5. 陸上で発せられる信号

- 5.1. 陸上で発する信号は、山中湖村ヨットハーバー艇置場西端に設置された掲揚ポールに掲揚する。
- 5.2. [DP][NP] 音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後次に示す分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。「D 旗」が「クラス旗」の上に掲揚された場合、その種目のみに適用する。

レース・エリア	予告信号は、次に示す分以降
A・B	20

5.3. 陸上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1分」を「次に示す分以降」と置き換える。

レース・エリア	予告信号は、次に示す分以降
A・B	20

5.4. [DP][NP] 陸上信号掲揚ポールに、Y旗が掲揚された場合、RRS 40.1の規定に従うこと。

## 6. スケジュール

### 6.1. レース日程

月 日	時間	内容
6月12日 (金)	08:00	レースオフィス オープン
	08:30~13:00	大会受付・大会装備検査順受付(艇庫前)
	09:00~15:00	計測 ・ 計測を終了した艇から水上練習可能
	16:00~	開会式 引き続き 監督主将会議 (清溪寮体育館)
6月13日 (土)	08:00	レースオフィス オープン
	08:20	ブリーフィング (ヨットハーバー艇庫前)
	09:30~	最初の種目の予告信号時刻 (最大 5レース)
6月14日 (日)	08:00	レースオフィス オープン
	08:20	ブリーフィング
	09:30~	最初の種目の予告信号時刻
	15:30	表彰式・閉会式 (清溪寮体育館)

また、SI Addendum B にレース日程及びレース数詳細を示す。

6.2. 各レース・エリアの引続き行うレースは、その前のレース終了後、引続き行う。

6.3. 天候等の事情により、レース日程及びレース海面は、レース委員会において変更することがあり、その変更はSI 2に従って行われる。

6.4. 1つのレースまたは一連のレースがまもなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

6.5. 当該艇種の1日に実施する最大レース数は5レースとする。

6.6. 6月14日(日)には、13時00分より後に予告信号を発しない。

## 7. クラス旗

7.1. 各種目のクラス旗は、以下のとおりとする。

種目	旗色・マーク
420 級 (男女を区別しない)	白地に420青記章
ILCA6 級 (男女を区別しない)	緑地にILCA赤記章

## 8. レース・エリア

8.1. レース・エリアがSI Addendum Cのとおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 61.4(b)を変更している。

## 9. コース

9.1. SI Addendum Eの見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2. 予告信号以前にシグナルポートに、帆走すべきコース及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。シグナルポートに掲示するコース指示は、次のとおり表示される。

コース LR ⇒ 1 - ラップ数

9.3. ゲート・マークのいずれかのマークが紛失した場合、残されたマークをポートに見て回航しなければならない。これは RRS 28.1 および 34 を変更している。

## 10. マーク

10.1. マークは、次のとおりとする。

レース エリア	マーク 1	4s,4p	新しいマーク	スタート・マーク	フィニッシュ・マーク
A	黄色の太円柱形	黄色の太円柱形	桃色の円錐形	レース委員会船	レース委員会船 黄色細円柱マークブイ
B	黄色の太円柱形 青色帯付き	黄色の太円柱形 青色帯付き	桃色の円錐形	レース委員会船	レース委員会船 黄色細円柱マークブイ

## 11. スタート

- 11.1. スタート・ラインは、スタート・マーク上の「オレンジ旗」を掲げたポールのコース側との間とする。
- 11.2. [DP][NP] 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。スタート・エリアはスタート・ラインから 50m 以内のエリアとし、その図を SI Addendum D に示す。
- 11.3. スタートは、艇種毎に、男子・女子を区別せずに同時スタートとする。
- 11.4. ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、レース委員会のシグナル・ボート以外のレース・コミッティー・ボートにも「第 1 代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会のシグナル・ボート以外のレース・コミッティー・ボートが行う「第 1 代表旗」の掲揚および降下については、規則レース信号「第 1 代表旗」説明文中の「予告信号は、降下の 1 分後に発する」の意味は持たないものとし、また音響の無声も無視されるものとする。これは規則レース信号および 29.2 を変更している。
- 11.5. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は RRS A5、A10 を変更している。

## 12. コースの次のレグの変更

- 12.1. コースの次のレグを変更する場合、次の対応を行う。
  - (a) SI 11 に規定する新しいマークを設置する
  - (b) フィニッシュ・ラインを動かす
  - (c) 風下ゲートを動かす
- 12.2. 実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 13. フィニッシュ

- 13.1. フィニッシュ・ラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールと黄色円柱マークブイの間とする。
- 13.2. 引き続きレースを行う場合には、フィニッシュ・マークのレース・コミッティー・ボートに「F 旗」を掲揚する（音響信号なし）。「F 旗」が掲揚されている場合、「フィニッシュしたレース艇は、レース中の艇を避けながら速やかにスタート・エリアに戻ることを求められている」。

## 14. ペナルティー方式

- 14.1. 付則 P を適用する。
- 14.2. 付則 T を適用する。『レース後ペナルティー』を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、RRS A10 を変更している。

14.3. レース委員会またはテクニカル委員会は、審問なしに標準ペナルティー [SP] を適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは公式掲示板に掲示される。

## 15. タイム・リミットとターゲット・タイム

15.1. マーク1のタイム・リミット、レース・タイム・リミット (RRS 35 参照) およびフィニッシュ・ウインドウを下表に示す。

種目	レース・タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウインドウ	ターゲット・タイム
420 級	60 分	20 分	10 分	30 分
ILCA6 級	60 分	20 分	10 分	30 分

15.2. マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースは中止する。

15.3. フィニッシュ・ウインドウとは、最初の艇がコースを帆走した後、艇がフィニッシュする時間のことである。スタートしたが、フィニッシュ・ウインドウ内にコースの帆走ができず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、また救済を与えられなかった艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった」(DNF) と記録される。これは、RRS 35、A 5.1、A 5.2、A 10 を変更している。

15.4. ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 61 を変更している。

15.5. スタート信号後にレースを中止する場合、艇に速やかに知らせるため、レース委員会のシグナル・ポート以外のレース・コミッティー・ポートにも「N 旗」、「H 旗の上に N 旗」あるいは「A 旗の上に N 旗」を掲揚することがある。ただし、レース委員会のシグナル・ポート以外のレース・コミッティー・ポートが行う「N 旗」の掲揚および降下については、規則レース信号『N 旗』説明文中の「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味は持たないものとし、また音響の無声も無視されるものとする。これは規則レース信号および 32.3 を変更している。

## 16. 審問の要求

16.1. 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会 RRS.org のオンラインフォーム “Hearing Request (審問要求書フォーム)” により、適切な制限時間内にプロテスト委員会事務局に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局で入手できる用紙に記入し、同事務局に持参して提出することができる。

16.2. それぞれの種目に対して、抗議締切時刻はその日の当該艇種の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から下記に示す時間とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。公式掲示板の「抗議締切時刻通告」より確認することができる。

レース・エリア	時間
A・B	60 分

16.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告を公式掲示板に掲示する。審問は山中湖村ヨットハーバー艇庫前テントのプロテスト審問室にて公式掲示板に掲示した時刻に始められる。

16.4. 委員会による抗議の通告を、RRS 60.2(d)に基づき艇に伝えるために公式掲示板に掲示する。

16.5. RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを公式掲示板に掲示する。

16.6. RRS 63.5(d) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。

16.7. 審問再開は、判決を通告された日の翌日の午前8時30分までの間に限り求めることができる。ただし、6月14日(日)に判決を通告された場合には、判決を通告されてから15分以内とする。これは、RRS 63.7 を変更している。

16.8. 6月14日(日)では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は判決の掲示から15分以内でなければならない。これは RRS 61.2 を変更している。

- 16.9. RRS50.1(b)、クラス規則および大会装備規程の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。
- 16.10. SI18.2の規定に基づく得点照会に対する回答を受けた後に提出された救済要求は、次の場合、締切時刻を満たしているものとする。
- 16.10.1. 得点照会が、得点またはシリーズ成績の情報が入手可能となった後、常識的にできるだけ早く提出され、かつ救済要求が、得点照会に対する回答が通知されたあと常識的にできるだけ早くに提出された場合。回答はオンライン・システムによって通知される。この項は RRS 61.2 を変更している。
- 16.11.プロテスト委員会の決定に対する上告の権利は、規則 70.3(b)、(c)に規定されているとおりに否認される。

## 17. 得点

- 17.1. 本大会は各種目とも7レースが予定され、それぞれ1レースの完了をもって成立する。
- 17.2. 付則 A5 の「シリーズに参加した艇の数」とは、本大会に参加が認められた艇の数とする。
- 17.3. 艇の得点は、男子・女子毎に付す。
- 17.4. 艇は、公式掲示板に掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、大会 RRS.org のオンラインフォーム“Scoring Inquiry (得点照会のフォーム)”をレース委員会事務局に提出することで、得点及び成績の訂正を要請することができる。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には、レース委員会事務局に持参して提出することができる。また、大会終了後には得点の修正を求めすることはできない。
- 17.5. 指示 14.3 に従ってペナルティーを課した艇に対して、標準ペナルティーガイドラインに従って得点を記録し、成績表には「STD」と表示する。ただし、そのレースの「DNF」の得点より悪くなることはない。これは規則 63.1、付則 A5.1 を変更している。なお、引き続きレースが行われた場合には、指示 19.1(a) の出艇申告手続きの誤りについては当日の一連のレースの最初のレースのみ、同様に指示 19.1(b) 帰着申告手続きの誤りについては、その当日の一連の最後のレースにのみにペナルティーを課す。
- 17.6. カットレース
- 17.6.1. 完了したレースが4回以下の場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 17.6.2. 完了したレースが5回以上の場合、艇のシリーズの得点は、除外できない得点(DNE)以外の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

## 18. [NP]安全規定

- 18.1. [SP]420 級乗員届
- 420級の第1レースの「乗員届」は、6月13日(土)08:10~08:30までの間に、レースオフィスに提出しなければならない。第2レース以降乗員を変更する場合は、その都度「乗員変更届」をレースオフィスに提出しなければならない。この提出により、420級クラス規則によるレース委員会の承認を得ることになる。「乗員変更届」の提出時間は、引き続きレースが行われる場合には指示 19.1 のとおりとする。再度出艇する場合は「D旗」掲揚時刻後10分までとする。
- 18.2. [SP]チェックアウト・チェックイン
- 18.2.1. レースに参加しようとする艇の艇長は、その日の最初のレースのD旗掲揚10分後までに、レースオフィスにて出艇申告書に署名しなければならない。また、レースに参加(出艇)しない艇は、その日の予告信号予定時刻の30分前までにリタイア DNC 申告書に艇長若しくは監督・引率責任者(代理)が署名しなければならない。
- 18.2.2. 帰着した艇は、帰着後速やかに、またさらに、その日の当該種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から下記に示す時間以内に帰着申告書に艇長が署名しなければならない。

レース・エリア	時間
A・B	60分

- 18.2.3.水上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前に SI 22.の運営船にその旨を伝えること。また、帰着後速やかに SI 19.1.1.のリタイア DNC 申告書に艇長若しくは監督(代理)が署名しなければならない。また、帰着した競技者は、SI18.2.2.に示す時間内にレースオフィスにて「帰着申告書」に署名しなければならない。
- 18.2.4.帰着した後、その日の引き続き行われるレースに参加する艇の艇長は、新たにレースのD旗掲揚10分後までに、レースオフィスにて出艇申告書に署名しなければならない。
- 18.2.5.引き続き行われる場合の出艇申告は取りまとめて行う。
- 18.3. 引き続き行われるレースでヘルムスマンが選手交代した場合、帰着申告は帰着直前のレースのヘルムスマンが行う。
- 18.4. [DP] レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。
- 18.5. 救助を必要とする艇の乗員は、頭上で手を大きく振って救助要請を行うこと。
- 18.6. 委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは RRS 61.4(b)を変更している。
- 18.7. [DP]競技者は衣類又は個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、水上にいる間は個人用浮揚用具(ライフ・ジャケット (PFD))を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。クラス規則により規定された場合を除き、個人用浮揚用具は、ISO 12402-5、レベル 50 又は同等の基準に従うとともに、体格(体重)にあったサイズを着用しなければならない。
- 18.8. 艇は、自らの安全のためにマスト・トップに浮力体を取り付けることができる。形状は球形に限り、1か所をロープで取り付けなければならない。ただし、コンディションにより付けたり外したりしてもよい。
- 18.9. [DP]曳航ロープについて
- (a)420 級については、420 クラス規則のとおりとする。
- (b)ILCA6 級については、直径 6 mm 以上、長さ 5 m 以上の曳航ロープをバウアイにつけておかなければならない。

## 19. [NP] 引き続き行われるレースにおける乗員の交代

- 19.1.[SP]420 級で引き続き行われるレースにおいて乗員を交代しようとするチームは、新たに乗艇する乗員がレースオフィスに「乗員変更届」を提出しなければならない。受付時間は、直前のレースのスタート時刻からレース終了時刻までの間とする。
- 19.2.指示 19.1 の手続きにより乗員の交代を海上にて行う必要が生じた場合、乗員の搬送はレース委員会の用意した船艇で行う。交代する乗員は指定された時間に装備を整えた状態でレースオフィス(艇庫)前に待機しなければならない。
- 19.3.水上にいる 420 級の乗員が乗員交代の意向を監督コーチに伝えようとする場合は、当該レースの終了後 5 分以上にフィニッシングラインのレースコミッティーボートにその旨を申し出る事。

## 20. [DP] [NP] セールへの表示

- 20.1. 艇は規則でセールに表示することが求められているもの、あるいは認められているもの以外は表示してはならない。ただし、全国高校総体で使用した学校名シール、国民スポーツ大会で使用した都道府県名およびリコール番号、国際大会で使用した国旗シールは剥がす必要はない。
- 20.2. 全国高体連「競技者・指導者規程」を準用し、企業広告・個人広告・校章その他のマークや記章の表示をしてはならない。
- 20.3. 女子 420 級および女子 ILCA6 級は、それぞれのクラス規則及び大会装備規程に従い、赤色菱形の識別マークをセールの両面の同じ位置に表示しなければならない。

## 21. [DP] 装備と計測のチェック

- 21.1. 大会前装備検査(計測)は、大会装備規程に従って実施する。

- 21.2. 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に RRS.org 「装備交換フォーム」にてテクニカル委員会に行われなければならない。オンラインでの提出が困難な場合、フォーム（用紙）はレースオフィスで入手できる。
- 21.3. 艇はレース前の装備検査合格後、自らの責任により、最終レース終了までの間、常にクラス規則及び大会装備規程に従っていないなければならない。ただし、日常のメンテナンス、テクニカル委員会による許可を受けた修理交換作業中はこの限りではない。
- 21.4. 水上で艇はフィニッシュ後、テクニカル委員会より、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。陸上では、艇または装備がクラス規則、NoR 及び SI に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

## 22. 運営船

運営船の標識は次の通りである。なお、標識の不備は艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは規則 61.4(b)(1)を変更している。

運営船	識別旗
レース委員会船	白地に黒字「RC」
プロテスト委員会船	白地に赤字「JURY」
テクニカル委員会船	緑旗
救助船	ピンク旗

## 23. 支援者艇

- 23.1. 支援者艇は、サポートチーム規程（STR）に従わなければならない。
- 23.2. レースエリアにドローンを飛行させることを禁止する。

## 24. ゴミの処分

ゴミは支援者艇または運営船に渡してもよい。

## 25. 賞

- 25.1. 実施要項のとおり、賞を授与する。

## 26. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

## 27. 故意または過失によって生じた損害の補償

OA は、競技者または支援者に対して、その故意または過失によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、OA の裁定に従うものとする。

## SI A ddendum A リンク先

◇大会ホームページのリンク URL

[jsaf.or.jp/fujiyama/2026\\_kantoutaikai.html](http://jsaf.or.jp/fujiyama/2026_kantoutaikai.html)

◇大会 LINE オープンチャットのリンク URL

QRコード ⇒



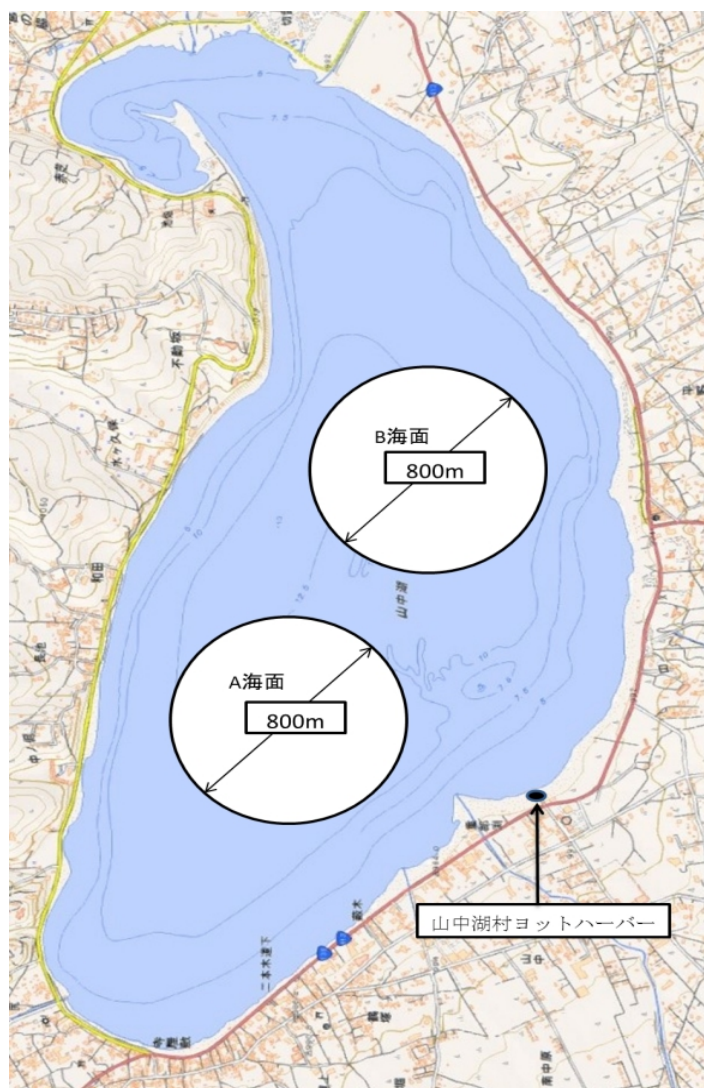
◇大会公式掲示板 URL (大会 RRS.org QRコード)

別紙 令和8年度第78回関東高等学校ヨット大会 第67回全国高等学校ヨット選手権予選  
「オンライン掲示板のご案内」 のとおり

## SI Addendum B レース日程及びレース数

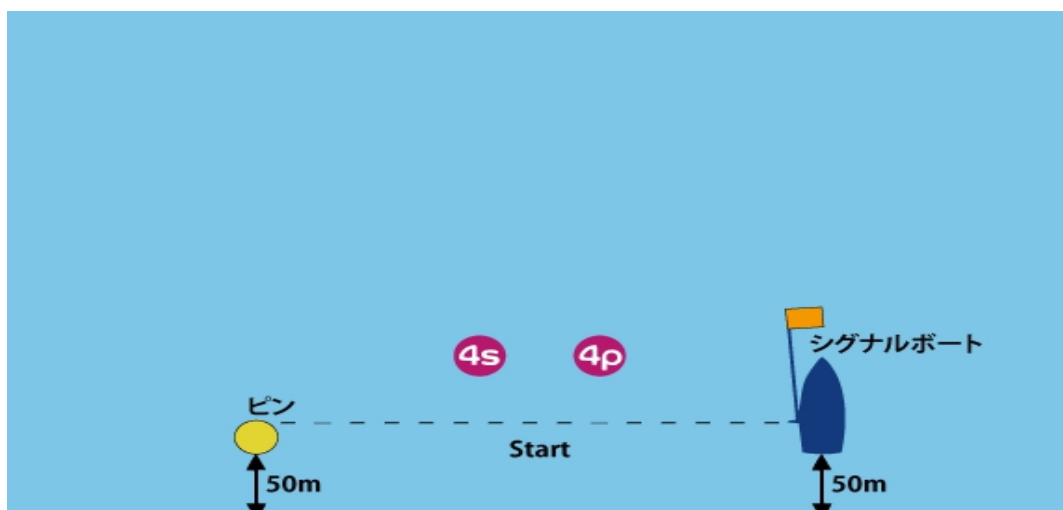
種目	6月13日(土) レース・エリア 予告信号時刻	レースNO	6月14日(日) レース・エリア 予告信号時刻	レースNO
420級	A 09:30	R1	A 09:30	前日の最終 レースに続く NO
ILCA6級	B 09:30	R1	B 09:30	前日の最終 レースに続く NO

## SI Addendum C レース・エリア

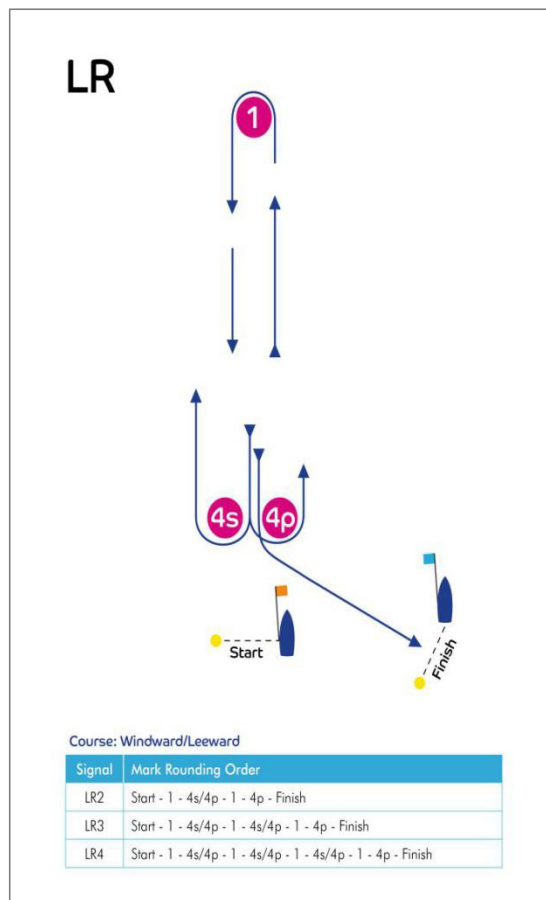


AエリアとBエリアの位置は、重ならない範囲で、天候等の事情を勘案してエリアを設定する。

## SI Addendum D スタート・エリア



## SI Addendum E コース図



## 山中湖の日出・日没時刻

(山梨県南都留郡山中湖村山中)

	6月12日(金)	6月13日(土)	6月14日(日)
日の出時刻	04:30:14	04:30:12	04:30:11
日没時刻	19:00:58	19:01:23	19:01:47
月齢	26.30	27.30	28.30

# 選手・監督一覧表

## 男子420級

No.	都県名	高校名	チーム	セールNo.	監督名	選手1	学年	選手2	学年	選手3	学年	選手4	学年
1	茨城	霞ヶ浦	A	57546	西村 祐司	角森 未岬	2	浅野 悠真	3	豊嶋 倅大	1	田谷 圭梧	1
2			B	55487	西村 祐司	尾崎 友太	3	宇仁 航士郎	3	坂本 慶一朗	1		
3		土浦第一	A	56406	薄井 利章	田崎 侑人	2	中野 佑哉	2				
4		土浦工業	A	56745	北田 健一	角田 湧心	3	菅生 洸希	2	田山 龍希	2	桑原 翔夢	1
5			B	56429	北田 健一	戸田 千照	2	中村 優牙	2	北村 隼利	1	菅野 賢人	1
6	東京	大島海洋国際	A	56806	網谷 宗彦	平井 聡一郎	3	小川 蒼甫	3	石原 正洋	2	淵上 暖真	2
7		目黒日本大学	A	54460	三浦 隆博	三浦 太輝	1	平澤 海翔	1	上條 正弘	1		
8		早稲田大学高等学院	A	57643	柿沼 亮介	齋藤 瑞人	3	棚橋 漣	3				
9			B	55061	柿沼 亮介	江川 聖和	3	廿浦 日向	3				
10	神奈川	慶應義塾	A	56177	北島 伸哉	吉田 健太郎	3	大矢 亮太郎	3	桑野 克万	3	真塩 奏人	2
11			B	57033	北島 伸哉	渡邊 薫	3	相原 翔太郎	3	島田 十耀成	3	石井 旺二郎	3
12		逗子開成	A	57811	吉田 真浩	前田 海悟	3	花木 晴也	3	高橋 勇斗	2	高橋 彩斗	2
13			B	57269	吉田 真浩	恒本 琉音	3	井出 研太郎	3	廣瀬 一慧	3	高松 碧海	2
14	千葉	磯辺	A	56167	吉田 小桜	辻本 琉翔	3	長井 泰平	3	中村 旬汰	3	井阪 尚暉	2
15			B	55412	吉田 小桜	戸丸 郷	3	根本 啓人	2	藤本 遥希	3	麻生 唯月	2
16		稲毛・稲毛国際	A	55007	天貝 謙介	中村 脩字	1	鈴木 僚太	1	木下 博貴	2	大塚 晶正	1
17	山梨	吉田	A	55464	佐藤 里菜	萱沼 仁	3	宮下 律	2				
18		富士北稜	A	55444	七尾 知紘	松田 琉依	1	高村 俊汰	1				

## 女子420級

No.	都県名	高校名	チーム	セールNo.	監督名	選手1	学年	選手2	学年	選手3	学年	選手4	学年
1	茨城	霞ヶ浦	A	55009	西村 祐司	井坂 文菜	1	實松 莉歩	3	尾畑 知和	1		
2		土浦第一	A	57626	薄井 利章	後藤 璃子	3	反保 朝果	3				
3			B	57036	薄井 利章	吉岡 ひとね	2	藤原 万緒	2				
4	東京	大島海洋国際	A	56807	網谷 宗彦	佐藤 麻衣	3	岩間 陽咲	2	吉田 芽唯	2	豊田 咲良	1
5	千葉	磯辺	A	55480	吉田 小桜	村越 奏風	2	川原 奈々	2				
6		稲毛・稲毛国際	A	57108	天貝 謙介	高井 菜名	3	奥田 智恵	3				
7			B	55700	天貝 謙介	井上 日菜子	3	寺本 結々夏	3				

# 選手・監督一覧表

## 男子ILCA6級

No.	都県名	高校名	チーム	セールNo.	監督名	選手	学年
1	茨城	霞ヶ浦	A	213158	西村 祐司	濱川 航英	3
2			B	213159	西村 祐司	源関 新	1
3		土浦工業	A	214970	北田 健一	佐藤 研志	3
4	東京	桜修館	A	214980	守屋 武彦	守屋 智徳	1
5		ドルトン東京学園	A	206173	岩波 将輝 岩波 幸	岩波 将吾	2
6	神奈川	鎌倉	A	180159	中丸 雅代	池田 晟	1
7		鎌倉学園	A	217028	中田 奈津子	中田 航誠	2
8			B	202603	中田 奈津子	穴井 翔	1
9		戸塚	A	140814	西川 文人	大嶋 瑞斗	3
10		関東学院六浦	A	223687	加原 奈緒子	加原 弦季	2
11			B	228221	加原 奈緒子	森 郁人	1
12		湘南	A	146692	塩谷 伸一	水谷 光一	2
13		菅	A	104990	白鳥 由美	白鳥 友治	3
14		藤嶺学園藤沢	A	228227	秋田 稔	秋田 海斗	2
15	千葉	磯辺	A	162552	吉田 小桜	三上 海斗	3
16		稲毛・稲毛国際	A	207994	天貝 謙介	鶴岡 佑樹	3
17			B	148509	天貝 謙介	千葉 陽真	2
18		館山総合	A	154064	杉田 勇樹	根本 悠也	3
19	山梨	富士北稜	A	221685	七尾 知紘	高村 拓豊	2
20			B	80797	七尾 知紘	高村 隼	2

## 女子ILCA6級

No.	都県名	高校名	チーム	セールNo.	監督名	選手	学年
1	茨城	土浦工業	A	66003	北田 健一	浅野 保乃華	2
2		土浦第一	A	144400	薄井 利章	関谷 哩梨	3
3		茗溪学園	A	182310	仲山 功	仲山 真珠子	2
4	神奈川	横須賀学院	A	217071	須永 菜美	須永 言葉	1
5		横浜	A	217702	松島 哲也	武藤 紗良	2
6	千葉	磯辺	A	141830	吉田 小桜	赤澤 愛唯	3
7		稲毛・稲毛国際	A	207996	天貝 謙介	越前 七海	3
8		館山総合	A	151771	杉田 勇樹	ステファニー 三絢	2
9	山梨	吉田	A	208955	佐藤 里菜	天野 璃音	3
10		富士北稜	A	214981	七尾 知紘	渡邊 梨音	3

# セール番号一覧表

No.	都県名	高校名	男子 420級		女子 420級		男子 ILCA6級		女子 ILCA6級
			A	B	A	B	A	B	A
1	茨城	霞ヶ浦	57546	55487	55009		213158	213159	
2		土浦第一	56406		57626	57036			144400
3		土浦工業	56745	56429			214970		66003
4		茗溪学園							182310
5	東京	大島海洋国際	56806		56807				
6		目黒日本大学	54460						
7		早稲田大学高等学院	57643	55061					
8		桜修館					214980		
9		ドルトン東京学園					206173		
10	神奈川	慶應義塾	56177	57033					
11		逗子開成	57811	57269					
12		鎌倉					180159		
13		鎌倉学園					217028	202603	
14		戸塚					140814		
15		関東学院六浦					223687	228221	
16		湘南					146692		
17		菅					104990		
18		藤嶺学園藤沢					228227		
19		横須賀学院							217071
20	横浜							217702	
21	千葉	磯辺	56167	55412	55480		162552		141830
22		稲毛・稲毛国際	55007		57108	55700	207994	148509	207996
23		館山総合					154064		151771
24	山梨	吉田	55464						208955
25		富士北稜	55444				221685	80797	214981





# 男子コンバインド

No.	都県名	高校名	男子420級		男子ILCA6級		得点	順位
			A	B	A	B		
1	茨城	霞ヶ浦						
2		土浦第一						
3		土浦工業						
4	東京	大島海洋国際						
5		目黒日本大学						
6		早稲田大学高等学院						
7		桜修館						
8		ドルトン東京学園						
9	神奈川	慶應義塾						
10		逗子開成						
11		鎌倉						
12		鎌倉学園						
13		戸塚						
14		関東学院六浦						
15		湘南						
16		菅						
17	藤嶺学園藤沢							
18	千葉	磯辺						
19		稲毛・稲毛国際						
20		館山総合						
21	山梨	吉田						
22		富士北稜						

# 女子コンバインド

No.	都県名	高校名	女子420級		女子ILCA6級	得点	順位
			A	B	A		
1	茨城	霞ヶ浦					
2		土浦第一					
3		土浦工業					
4		茗溪学園					
5	東京	大島海洋国際					
6	神奈川	横須賀					
7		横浜					
8	千葉	磯辺					
9		稲毛・稲毛国際					
10		館山総合					
11	山梨	吉田					
12		富士北稜					

## 前回までの成績

年度	回数・開催地	順位	男子スナイプ級	男子A級	女子スナイプ級	女子A級
24	第1回 横 浜	1				
		2				
		3				
25	第2回 横 浜	1				
		2				
		3				
26	第3回 横 浜	1				
		2				
		3				
27	第4回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	慶應義塾高校			
28	第5回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	慶應義塾高校			
29	第6回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	早稲田大学高等学院			
30	第7回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	逗子開成高校			
31	第8回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	逗子開成高校			
32	第9回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	逗子開成高校			
33	第10回 横 浜	1	総合優勝			
		2				
		3	逗子開成高校			
34	第11回 横 浜	1	逗子開成高校	逗子開成高校		
		2	早稲田学院	法政二高		
		3	熱海高校	熱海高校		
35	第12回 横 浜	1	逗子開成高校	逗子開成高校		
		2	早稲田学院	法政二高		
		3	熱海高校	早稲田学院		
36	第13回 横 浜	1	熱海高校	熱海高校		
		2	法政二高	逗子開成高校		
		3	早稲田学院	安房水産高校		
37	第14回 横 浜	1	逗子開成高校	逗子開成高校		
		2	慶應義塾高校	熱海高校		
		3	早稲田学院	早稲田学院		
38	第15回 横 浜	1	逗子開成高校	逗子開成高校		
		2	安房水産高校	関東学院高校		
		3	慶應義塾高校	安房水産高校		
39	第16回 熱海市多賀	1	安房水産高校	熱海・法政二高		
		2	熱海高校			
		3	逗子開成高校	逗子開成高校		
40	第17回 熱海市多賀	1	熱海高校	逗子開成高校		
		2	逗子開成高校	熱海高校		
		3	安房水産高校	土浦第一高校		
41	第18回 葉山町鑑摺	1	安房水産高校	安房水産高校		
		2	逗子開成高校	逗子開成高校		
		3	熱海高校	熱海高校		

年度	回数・開催地	順位	男子スナイプ級	男子A級	女子スナイプ級	女子A級
42	第19回 土浦市霞ヶ浦	1	安房水産高校	霞ヶ浦高校		
		2	土浦第一高校	熱海高校		
		3	霞ヶ浦高校	関東学院高校		
43	第20回 山中湖	1	安房水産・熱海	逗子開成高校		
		2		慶應義塾高校		
		3	逗子開成高校	北富士工業高校		
年度	回数・開催地	順位	男子スナイプ級	男子FJ級	女子スナイプ級	女子FJ級
44	第21回 藤沢市江ノ島	1	逗子開成高校	逗子開成高校		
		2	土浦第一高校	熱海高校		
		3	北富士工業高校	関東学院高校		
45	第22回 土浦市霞ヶ浦	1	土浦日大高校	逗子開成高校		
		2	霞ヶ浦高校	関東学院高校		
		3	土浦第一高校	安房水産高校		
46	第23回 山中湖	1	安房水産高校	土浦日大高校		
		2	霞ヶ浦高校	逗子開成高校		
		3	逗子開成高校	霞ヶ浦高校		
47	第24回 館山市	1	土浦日大高校	逗子開成高校	安房水産高校	
		2	安房水産高校	安房水産高校	麻生高校	
		3	中央大付属高校	土浦日大高校		
48	第25回 藤沢市江ノ島	1	安房水産高校	安房水産高校	安房水産高校	山手学院高校
		2	土浦第一高校	土浦日大高校	安房南高校	
		3	東海大工業高校	関東学院高校	土浦第二高校	
49	第26回 土浦市霞ヶ浦	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	安房水産高校	土浦第二高校
		2	安房水産高校	逗子開成高校	土浦第二高校	土浦第一高校
		3	土浦第一高校	土浦日大高校	安房南高校	山手学院高校
50	第27回 館山市	1	土浦日大高校	霞ヶ浦高校	安房水産高校	土浦第二高校
		2	土浦第一高校	早稲田学院	土浦日大高校	
		3	霞ヶ浦高校	安房水産高校		
51	第28回 藤沢市江ノ島	1	逗子開成高校	逗子開成高校	土浦日大高校	
		2	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	土浦第一高校	
		3	安房水産高校	土浦日大高校	安房水産高校	
52	第29回 土浦市霞ヶ浦	1	土浦第一高校	安房水産高校	波崎高校	山手学院高校
		2	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	安房水産高校	
		3	安房水産高校	土浦日大高校		
53	第30回 館山市	1	霞ヶ浦高校	逗子開成高校	筑波大付属高校	
		2	土浦日大高校	土浦第一高校		
		3	逗子開成高校	土浦日大高校		
54	第31回 藤沢市江ノ島	1	霞ヶ浦高校	土浦第一高校	磯辺高校	磯辺高校
		2	逗子開成高校	霞ヶ浦高校	筑波大付属高校	
		3	土浦第一高校	勝浦高校	勝浦高校	
55	第32回 土浦市霞ヶ浦	1	磯辺高校	磯辺高校	磯辺高校	磯辺高校
		2	霞ヶ浦高校	土浦第一高校	勝浦高校	土浦日大高校
		3	銚子水産高校	逗子開成高校	土浦第一高校	関東学院高校
56	第33回 館山市	1	霞ヶ浦高校	逗子開成高校	磯辺高校	磯辺高校
		2	逗子開成高校	霞ヶ浦高校	勝浦高校	土浦日大高校
		3	磯辺高校	磯辺高校		
57	第34回 藤沢市江ノ島	1	逗子開成高校	土浦第一高校	土浦第一高校	磯辺高校
		2	土浦第一高校	逗子開成高校	磯辺高校	関東学院高校
		3	磯辺高校	霞ヶ浦高校	勝浦高校	
58	第35回 土浦市霞ヶ浦	1	土浦第一高校	霞ヶ浦高校	土浦第一高校	磯辺高校
		2	磯辺高校	磯辺高校	磯辺高校	土浦日大高校
		3	勝浦高校	土浦第一高校	土浦日大高校	土浦第一高校
59	第36回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校	逗子開成高校	磯辺高校	土浦第一高校
		2	勝浦高校	勝浦高校	勝浦高校	土浦日大高校
		3	安房水産高校	霞ヶ浦高校	土浦第一高校	磯辺高校

年度	回数・開催地	順位	男子スナイプ級	男子F J級	女子スナイプ級	女子F J級
60	第37回 藤沢市江ノ島	1	磯辺高校	霞ヶ浦高校	磯辺高校	勝浦高校
		2	霞ヶ浦高校	勝浦高校	土浦第一高校	吉田高校
		3	勝浦高校	磯辺高校		磯辺高校
61	第38回 土浦市霞ヶ浦	1	日本大学高校	逗子開成高校	磯辺高校	吉田高校
		2	磯辺高校	磯辺高校	吉田商業高校	吉田商業高校
		3	土浦日大高校	吉田高校	土浦日大高校	磯辺高校
62	第39回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	磯辺高校	吉田商業高校
		2	日本大学高校	吉田高校	吉田商業高校	磯辺高校
		3	土浦第一高校	勝浦高校		土浦第一高校
63	第40回 藤沢市江ノ島	1	磯辺高校	日本大学高校	磯辺高校	磯辺高校
		2	土浦日大高校	土浦第一高校	吉田商業高校	吉田商業高校
		3	霞ヶ浦高校	磯辺高校		土浦日大高校
元	第41回 土浦市霞ヶ浦	1	霞ヶ浦高校	日本大学高校	磯辺高校	土浦日大高校
		2	日本大学高校	磯辺高校		磯辺高校
		3	土浦日大高校	霞ヶ浦高校		吉田商業高校
2	第42回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	磯辺高校	吉田商業高校
		2	日本大学高校	関東学院高校		磯辺高校
		3	磯辺高校	土浦日大高校		吉田高校
3	第43回 藤沢市江ノ島	1	霞ヶ浦高校	磯辺高校	磯辺高校	磯辺高校
		2	勝浦高校	霞ヶ浦高校	吉田高校	土浦日大高校
		3	日本大学高校	勝浦高校		吉田高校
4	第44回 土浦市霞ヶ浦	1	吉田商業高校	吉田商業高校	磯辺高校	吉田高校
		2	霞ヶ浦高校	土浦日大高校	吉田商業高校	土浦日大高校
		3	勝浦高校	勝浦高校		磯辺高校
年度	回数・開催地	順位	男子F J級 ソロ競技	男子F J級 デュエット競技	女子F J級 ソロ競技	女子F J級 デュエット競技
5	第45回 千葉市稲毛	1	土浦日大高校	土浦日大高校	吉田商業高校	吉田商業高校
		2	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	磯辺高校	磯辺高校
		3	吉田商業高校	日本大学高校	吉田商業高校	土浦日大高校
6	第46回 山中湖	1	日本大学高校A	日本大学高校	吉田商業高校A	吉田商業高校
		2	霞ヶ浦高校A	霞ヶ浦高校	勝浦高校A	勝浦高校
		3	日本大学高校B	磯辺高校	磯辺高校A	磯辺高校
7	第47回 藤沢市江ノ島	1	土浦日大高校A	日本大学高校	吉田商業高校A	磯辺高校
		2	日本大学高校A	吉田高校	吉田高校A	勝浦高校
		3	日本大学高校B	霞ヶ浦高校	勝浦高校A	吉田商業高校
8	第48回 土浦市霞ヶ浦	1	吉田高校A	吉田高校	吉田商業高校A	磯辺高校
		2	土浦日大高校A	霞ヶ浦高校	磯辺高校A	吉田商業高校
		3	日本大学高校A	日本大学高校	磯辺高校B	吉田高校
9	第49回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校C	霞ヶ浦高校	磯辺高校A	磯辺高校
		2	霞ヶ浦高校B	逗子開成高校	吉田商業高校A	吉田高校
		3	霞ヶ浦高校A	吉田高校	吉田高校B	吉田商業高校
10	第50回 山中湖	1	吉田商業高校A	吉田商業高校	吉田高校A	吉田高校
		2	逗子開成高校A	霞ヶ浦高校	勝浦高校A	勝浦高校
		3	霞ヶ浦高校A	逗子開成高校	吉田高校B	磯辺高校
11	第51回 藤沢市江ノ島	1	霞ヶ浦高校A	磯辺高校	磯辺高校A	磯辺高校
		2	磯辺高校A	霞ヶ浦高校	吉田高校A	吉田高校
		3	磯辺高校B	逗子開成高校	土浦第一高校A	土浦第一高校
12	第52回 土浦市霞ヶ浦	1	霞ヶ浦高校A	土浦日大高校	磯辺高校A	磯辺高校
		2	土浦日大高校C	霞ヶ浦高校	土浦日大高校A	土浦日大高校
		3	逗子開成高校B	逗子開成高校	磯辺高校C	吉田高校
13	第53回 千葉市稲毛	1	土浦日大高校B	土浦日大高校	土浦日大高校A	磯辺高校
		2	吉田高校A	磯辺高校	磯辺高校B	検見川高校
		3	磯辺高校A	霞ヶ浦高校	磯辺高校A	土浦日大高校

年度	回数・開催地	順位	男子F J級 ソロ競技	男子F J級 デュエット競技	女子F J級 ソロ競技	女子F J級 デュエット競技
14	第54回 山中湖	1	安房水産高校B	霞ヶ浦高校	検見川高校A	検見川高校
		2	土浦日大高校A	安房水産高校	検見川高校B	吉田高校
		3	霞ヶ浦高校C	土浦日大高校	検見川高校C	磯辺高校
15	第55回 葉山町鑑摺	1	霞ヶ浦高校A	霞ヶ浦高校	磯辺高校A	土浦日大高校
		2	霞ヶ浦高校B	土浦日大高校	土浦日大高校A	磯辺高校
		3	安房水産高校A	逗子開成高校	土浦日大高校B	吉田高校
16	第56回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校A	霞ヶ浦高校	土浦日大高校A	吉田高校
		2	霞ヶ浦高校B	土浦日大高校	磯辺高校A	磯辺高校
		3	吉田商業高校A	安房水産高校	吉田高校B	土浦日大高校
17	第57回 土浦市霞ヶ浦	1	慶應義塾高校C	逗子開成高校	磯辺高校C	磯辺高校
		2	磯辺高校A	磯辺高校	吉田商業	検見川高校
		3	霞ヶ浦高校A	慶應義塾高校	・富士北稜	土浦日大高校
18	第58回 山中湖	1	慶應義塾高校A	吉田高校	磯辺高校A	磯辺高校
		2	吉田高校B	霞ヶ浦高校	検見川高校A	土浦日大高校
		3	霞ヶ浦高校B	逗子開成高校	磯辺高校C	検見川高校
19	第59回 葉山町鑑摺	1	土浦日大高校A	土浦日大高校	磯辺高校A	磯辺高校
		2	成城学園高校A	慶應義塾高校	磯辺高校C	吉田高校
		3	逗子開成高校A	霞ヶ浦高校	土浦日大高校A	土浦日大高校
20	第60回 土浦市霞ヶ浦	1	磯辺高校A	磯辺高校	磯辺高校A	磯辺高校
		2	勝浦若潮高校A	霞ヶ浦高校	磯辺高校C	霞ヶ浦高校
		3	磯辺高校C	逗子開成高校	磯辺高校B	吉田高校
21	第61回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校A	逗子開成高校	磯辺高校C	磯辺高校
		2	逗子開成高校A	磯辺高校	磯辺高校A	霞ヶ浦高校
		3	磯辺高校C	慶應義塾高校	磯辺高校B	吉田高校
22	第62回 山中湖	1	霞ヶ浦高校A	霞ヶ浦高校	磯辺高校B	磯辺高校
		2	逗子開成高校A	逗子開成高校	磯辺高校A	吉田高校
		3	逗子開成高校B	磯辺高校	磯辺高校C	富士北稜高校
23	第63回 葉山町鑑摺	1	逗子開成高校A	逗子開成高校	磯辺高校B	磯辺高校
		2	磯辺高校C	磯辺高校	磯辺高校A	吉田高校
		3	逗子開成高校B	土浦日大高校	磯辺高校C	大島海洋国際高校
24	第64回 土浦市霞ヶ浦	1	霞ヶ浦高校B	逗子開成高校	磯辺高校C	磯辺高校
		2	逗子開成高校A	霞ヶ浦高校	磯辺高校A	吉田高校
		3	逗子開成高校B	土浦日大高校	磯辺高校B	霞ヶ浦高校
25	第65回 千葉市稲毛	1	磯辺高校A	慶應義塾高校	霞ヶ浦高校A	大島海洋国際高校
		2	逗子開成高校B	逗子開成高校	磯辺高校A	霞ヶ浦高校
		3	慶應義塾高校B	磯辺高校	大島海洋国際高校A	磯辺高校
26	第66回 山中湖	1	慶應義塾高校A	慶應義塾高校	霞ヶ浦高校A	霞ヶ浦高校
		2	磯辺高校C	磯辺高校	霞ヶ浦高校B	磯辺高校
		3	逗子開成高校B	逗子開成高校	磯辺高校A	大島海洋国際高校
年度	回数・開催地	順位	男子420級	男子F J級	女子420級	女子F J級
27	第67回 葉山町鑑摺	1	慶應義塾高校	慶應義塾高校A	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校A
		2	霞ヶ浦高校	逗子開成高校A	磯辺高校	磯辺高校A
		3	稲毛高校	磯辺高校A	大島海洋国際高校	磯辺高校B
28	第68回 土浦市霞ヶ浦	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校A	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校A
		2	磯辺高校	逗子開成高校B	磯辺高校	磯辺高校A
		3	逗子開成高校	逗子開成高校A	大島海洋国際高校	磯辺高校B
29	第69回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校	逗子開成高校A	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校A
		2	慶應義塾高校	霞ヶ浦高校A	土浦日大高校	磯辺高校A
		3	霞ヶ浦高校	逗子開成高校B	磯辺高校	土浦第一高校A

年度	回数・開催地	順位	男子420級	男子ILCA6級	男子コンバインド	女子420級	女子ILCA6級	女子コンバインド	
30	第70回 山中湖	1	稲毛高校	逗子開成高校	逗子開成高校	磯辺高校	東海大相模高校	霞ヶ浦高校	
		2	霞ヶ浦高校	藤沢総合高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	稲毛高校	磯辺高校	
		3	逗子開成高校	明星学園高校	磯辺高校	霞ヶ浦高校	磯辺高校	日本橋高校	
元	第71回 葉山町鑑摺	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	横須賀学院高校	霞ヶ浦高校	
		2	霞ヶ浦高校	深沢高校	磯辺高校	磯辺高校	東海大相模高校	磯辺高校	
		3	逗子開成高校	霞ヶ浦高校	逗子開成高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	富士北稜高校	
2	第72回 土浦市霞ヶ浦	1	中 止						
		2	中 止						
		3	中 止						
3	第73回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	雙葉高校	霞ヶ浦高校	
		2	霞ヶ浦高校	藤沢総合高校	逗子開成高校	霞ヶ浦高校	七里ガ浜高校	稲毛高校	
		3	逗子開成高校	関東学院高校	磯辺高校	稲毛高校	郁文館高校	磯辺高校	
4	第74回 山中湖	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	郁文館高校	土浦第一高校	
		2	霞ヶ浦高校	横浜高校	逗子開成高校	土浦第一高校	七里ガ浜高校	磯辺高校	
		3	逗子開成高校	横須賀学院高校	慶應義塾高校	土浦第一高校	山手学院高校	霞ヶ浦高校	
5	第75回 葉山町鑑摺	1	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	磯辺高校	山手学院高校	磯辺高校	
		2	霞ヶ浦高校	作新学院高校	慶應義塾高校	磯辺高校	カリスタ女子高校	稲毛高校	
		3	慶應義塾高校	鎌倉学園高校	逗子開成高校	霞ヶ浦高校	田園調布双葉	霞ヶ浦高校	
6	第76回 土浦市霞ヶ浦	1	霞ヶ浦高校	鎌倉学園高校	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	山手学院高校	磯辺高校	
		2	磯辺高校	永谷高校	慶應義塾高校	磯辺高校	田園調布双葉	稲毛高校	
		3	霞ヶ浦高校	横浜国際高校	磯辺高校	磯辺高校	ID学園高校	霞ヶ浦高校	
7	第77回 千葉市稲毛	1	霞ヶ浦高校	関東学院六浦	霞ヶ浦高校	霞ヶ浦高校	ID学園高校	磯辺高校	
		2	霞ヶ浦高校	横浜国際高校	逗子開成高校	磯辺高校	磯辺高校	稲毛高校	
		3	逗子開成高校	鎌倉学園高校	慶應義塾高校	稲毛高校	横浜高校	霞ヶ浦高校	
8	第78回 山中湖	1							
		2							
		3							

祝 令和8年度第78回関東高等学校ヨット大会

選手の皆様の健闘をお祈りします！

PROスポーツショップ  
**神田スポーツ**

**山梨県富士吉田市下吉田5-24-12**

**TEL 0555-22-2231**

**fax 0555-22-8996**

選手の皆様の御健闘をお祈りします

# 川井スポーツ

代表 宮下悦郎

〒403-0008 山梨県富士吉田市下吉田東 2-21-21

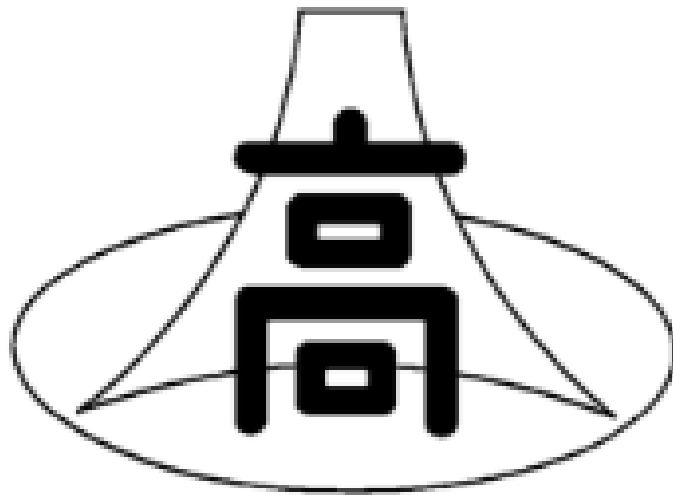
Tel&Fax 0555-23-6176

Mobile 090-8950-0873

祝

第78回関東高等学校ヨット大会

選手の皆さんの御健闘をお祈りいたします



山梨県立富士北稜高等学校

校訓

「明日を拓き 未来を創る」

第78回関東高等学校ヨット大会を応援します!!



弁当 仕出し ロケ弁 各種イベント等ご用命は当店へ

ランチ坊主

TEL 0555-24-6655

FAX 0555-24-6659



日本青年館分館

山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪

2025.09

# スポーツ・ゼミ合宿プラン

スポーツ合宿・ゼミ合宿・サークルなどは  
**世界文化遺産**  
の富士山麓で

1泊3食付き(消費税、入湯税込)

## 洋室 11,650円~

(3~4名様1室)

(土曜、祝前日は上記料金をプラス2,200円)

※除外日：年末年始、ゴールデンウィーク、お盆期間などホテルが指定する日及び満室日

- ※15名様以上の学生(教員等含む)が対象です
- ※2クラスまたは60名以上で貸切可能
- ※お食事はセットメニューです。追加料金をアップグレード可能
- ※アレルギーは可能な限り対応致します
- ※表示料金には諸税が含まれております

## プラン特典

### 4つの会議室とホール

会議室(会場) 1室無料 13時から翌日12時まで **室料無料**  
 ※2日目の12時以降は有料です  
 ホワイトボード(無料)、その他機材は有料(割引あり)  
 コンパ会場 宿泊当日会場23時まで

**会場料無料。持ち込みOK**

### 夜はキャンプファイヤー!

22,000円(約1時間)

### 体育館完備(広さ612㎡ 34m×18m)

1日 17,600円

バレーホール1面、バドミントン3面、卓球台5台、  
 バスケットホール(ミニバスサイズ)1面、フットサルコートあり  
 (上記のうち、いずれかになります。バスケットフットサルは簡易コートです)  
 ダンス用鏡18枚あり

### 野外バーベキュー(4月~11月)

ご夕食: 1泊3食にプラス1,650円

ご昼食: 1泊3食にプラス3,850円

◆昼食は追加料金なしで飯盒炊爨に変更できます◆

- ※食材、備品のみのご提供になります
- ※食材の下準備から機材の片付けまですべてお客様に実施していただきます
- ※時間は約3~4時間かかります
- ※軍手・ふきんは必ずご用意ください

標高1,000m、富士山の麓、広大な落葉松林に囲まれた「ホテル清溪」は、10,000坪の敷地に約100人のご宿泊と、会議室・ホール・体育館・野外炊飯場等の充実した施設を擁しており、各種研修や合宿、移動教室等に最適な施設です。



## アクセス

《バス》  
 バスタ新宿より中央高速バス「山中湖旭日丘」下車 徒歩約10分  
 富士急行線富士山駅より路線バス「ゴルフ場入口」下車 徒歩すぐ

《お車》  
 東名高速道路 御殿場I.C.より30分 新御殿場インターより20分  
 東富士五湖道路 山中湖I.C.より10分



全室Wi-Fi完備  
(体育館を除く)



### 山中湖旭日丘温泉 ホテル清溪

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-296

TEL 0555-62-0020 FAX 0555-62-4460

Mail seikei@nippon-seinenkan.or.jp

# いつも「喜び・感動」

富士急グループは、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、オリジナルテイの高い「喜び・感動」を創造することにより、世界の人々の心の豊かさに貢献します。



富士吉田営業所  
〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原5-2-1  
TEL (0555) 22-5551 / FAX (0555) 23-4309



👉 お得な情報はこちら 👉

## フジムスピ バスネット 高速バス オンライン予約

富士五湖・富士山周辺エリア発着  
石和温泉・甲府等その他山梨エリア発着

観光&飲食店 情報満載



📍 富士急ハイランド に行くのにも便利！



スマホでも使いやすい時刻表掲載！

フジムスピバスネット

<https://www.fujikyutrans.com/free5/bus.html>  
協力：一般社団法人富士五湖観光連盟

